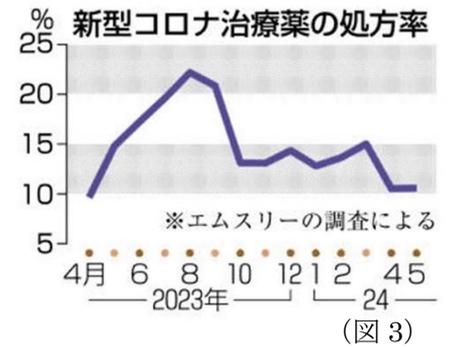


## ★ 五類 移行後 コロナ治療薬 処方率低下

### 4月以降 負担増しが 影響か

コロナ感染症が2類から5類へ移行して5月8日で1年。昨年5月～11月に計1万6043人が感染して死亡。季節性インフルによる死者よりも圧倒的に多い。治療薬は3月末で公費による補助が終わり、通常の医療費同様に自己負担が必要となった。そのため 飲み薬の処方率が4月以降10%程度低下した事が判明した。治療薬代に対する公費支援が終了し比較的高額な支払いに、処方を見送る人が増えたとみられます。(図3)



現在 国内では塩野義製薬「ゾコーバ」の場合 9千円 (3割負担の場合) だったが4月以降は1万5千円程度、MDSの「ラブゲリオ」・米ファイザー「バキロット」で約3万円の自己負担が要するため投薬を拒否する人もいる。治療薬を使うと症状が早く収まり、後遺症も抑えられるが希望者は患者のうち半数強となった。自己負担が少なかった頃は治療薬で助かったが、ある程度 お金に余裕がある人しか使いつらくなっていることが判明した。

無料だったワクチン接種も4月から自己負担が生じるようになり、7～8千円負担してまで打つのか。加東市はワクチンの期限があるまで廃棄せず無料で接種するとしている。

感染症に罹患すると 医療費も多額になる。コロナワクチン接種に対して 自己負担金額が高額であると接種を拒否されるため、虚弱高齢者に対して 国が負担額を決めないと自治体でも負担額も決められない。早期に対応して欲しいものです。現在の処 明石市では自己負担3千円で接種が可能となりそうです。また 明石市でインフルワクチンは摂取料自己負担無料としたため、接種率が50%→70%に上がった。虚弱高齢者は本秋にワクチン接種することで、重症・感染予防に繋げて欲しいものです。

お互いに 惚けましたねと 名前聞く

物価高 サプリをやめて 納豆に

令和6年 半夏生

(文責 MMY)



## むつみ荘だより

### ホームページでも配信中!



QRコード

あさぎりむつみ荘

検索



携帯電話・スマートフォンでもご覧になれます。

※一部対応していない機種もあります。